

## LESSON NOTES

# Advanced Audio Blog S5 #21 Top 10 Japanese Historical Figures: Ieyasu Tokugawa

---

## CONTENTS

- 2 Kanji
- 2 Kana
- 4 Romanization
- 5 English
- 6 Vocabulary
- 7 Sample Sentences
- 7 Grammar

# 21

# KANJI

1. 徳川家康
2. 織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三人を、三大英傑と呼ぶと以前紹介しましたが、今回は三人目の英傑、家康を紹介しましょう。
3. 家康は徳川幕府あるいは江戸幕府と呼ばれる1603年から1867年まで約260年続いた武家政権の創始者です。この政権下では、天皇から征夷 大將軍という位を与えられた者が実質的な権力を持って政治を執り行い、そしてそれは家康の子孫達に代々受け継がれました。征夷大將軍は江戸（現在の東京）に住んでいたため、当時の政治・文化の中心は江戸。この時代を江戸時代と呼びます。
4. では、この徳川家康、どのような人物なのでしょう。
5. 家康は三河国（みかわのくに・現在の愛知県）の小領主の長男として生まれます。当時小領主達は有力な大名の助けを受けねば生き伸びていけないような状況。忠誠の証として、自分の息子を有力大名に差し出すことはよくありました。家康は幼少期を戦国大名の人質として暮らします。
6. その後、信長と同盟を結び、徐々に信頼を勝ち得ていった家康は大大名に成長します。信長の死後、秀吉の全国統一事業に協力をし、豊臣政権下では最有力大名になります。
7. やがて秀吉が亡くなり、大名同士の権力争いに関が原で勝利した家康が、江戸に幕府を開いたのは、62歳の時でした。当時の平均寿命が40歳から50歳であったことを考えると、長い長い道のりを歩んでようやくつんだ成功であることがわかるでしょう。
8. 「鳴かぬなら 鳴くまでまとう ホトトギス」。この句は家康の人生・性格を表す句として知られています。「ホトトギス」の句は信長・秀吉のブログでも紹介しましたが、皆さんはどの句に一番共感を覚えますか。

# KANA

CONT'D OVER

1. とくがわ いえやす
2. おだのぶなが、とよとみひでよし、とくがわ いえやすのさんにんを、さんだいえいけつとよぶといぜんしょうかいしましたが、こんかいはさんにんめのえいけつ、いえやすをしょうかいしましょう。
3. いえやすはとくがわばくふあるいはえどばくふとよばれる1603ねんから1867ねんまでやく260ねんつづいたぶけせいけんのそうししゃです。このせいけんかでは、てんのうからせいいたいしょうぐんというくらいをあたえられたものがじっしつてきなけんりよくをもってせいじをとりおこない、そしてそれはいえやすのしそんたちにだいだいうけつがれました。せいいたいしょうぐんはえど（げんざいのとうきょう）にすんでいたため、とうじのせいじ・ぶんかのちゅうしんはえど。このじだいをえどじだいとよびます。
4. では、このとくがわ いえやす、どのようなじんぶつなのでしょうか。
5. いえやすはみかわのくに（げんざいのあいちけん）のしょうりょうしゅのちょうなんとしてうまれます。とうじしょうりょうしゅたちはゆうりよくなだいみょうのたすけをうけねばいきのびていけないようなじょうきょう。ちゅうせいのあかしとして、じぶんのむすこをゆうりよくだいみょうにさしだすことはよくありました。いえやすはようしょうきをせんごくだいみょうのひとじちとしてくらしめます。
6. そのご、のぶながとどうめいをむすび、じょじょにしんらいをかちえていったいえやすはだいだいみょうにせいちょうします。のぶながのしご、ひでよしのぜんこくとういつじぎょうにきょうりよくをし、とよとみせいけんかではさいゆうりよくだいみょうになります。

CONT'D OVER

7. やがてひでよしがなくなり、だいまようどうしのけんりよくあらそいにせきがはらでしろうりしたいえやすが、えどにばくふをひらいたのは、62さいのときでした。とうじのへいきんじゅみようが40さいから50さいであったことをかんがえると、ながいながいみちのりをあゆんでようやくつかんだせいこうであることがわかるでしょう。
8. 「なかめならなくまでまとうホトトギス」。このくはいえやすのじんせい・せいかくをあらわすくとしていられています。「ホトトギス」のくはのぶなが・ひでよしのブログでもしょうかいしましたが、みなさんはどのくにいちばんきょうかんをおぼえますか。

## ROMANIZATION

1. Tokugawa, Ieyasu
2. Oda Nobunaga, Toyotomi Hideyoshi, Tokugawa Ieyasu no san-nin o, san-dai eiketsu to yobu to izen shōkai shimashita ga, konkai wa san-ninme no eiketsu, Ieyasu o shōkai shimashō.
3. Ieyasu wa Tokugawa-bakufu arui wa Edo-bakufu to yobareru 1603-nen kara 1867-nen made yaku 260-nen tsuzuita buke seiken no sōshisha desu. Kono seiken'ka de wa, Ten'nō kara Seii Taishōgun toiu kurai o ataerareta mono ga jishitsuteki na kenryoku o motte seiji o toriokonai, soshite sore wa Ieyasu no shisontachi ni daidai uketsugaremashita. Seii Taishōgun wa Edo( genzai no Tōkyō) ni sunde ita tame, tōji no seiji, bunka no chūshin wa edo. Kono jidai o Edo-jidai to yobimasu.
4. Dewa, kono Tokugawa Ieyasu, dono yōna jinbutsu na no deshō ka.
5. Ieyasu wa Mikawa no kuni( Mikawa no kuni. Genzai no Aichi-ken) no shōryōshu no chōnan to shite umaremasu. Tōji shōryōshutachi wa yūryoku na daimyō no tasuke o ukeneba ikinobite ikenai yōna jōkyō. Chūsei no akashi to shite, jibun no musuko o yūryoku daimyō ni sashidasu koto wa yoku arimashita. Ieyasu wa yōshōki o sengoku daimyō no hitojichi to shite kurashimasu.

CONT'D OVER

6. Sono go, Nobunaga to dōmei o musubi, jojo ni shinrai o kachiete itta Ieyasu wa dai daimyō ni seichō shimasu. Nobunaga no shigo, Hideyoshi no zenkoku tōitsu jigyō ni kyōryoku o shi, Toyotomi seikenka de wa saiyūryoku daimyō ni narimasu.
7. Yagate Hideyoshi ga nakunari, daimyō doushi no kenryoku araso ni Seki ga hara de shōri shita Ieyasu ga, Edo ni bakufu o hiraita no wa, 62-sai no toki deshita. Tōji no heikin junyō ga 40-sai kara 50-sai de atta koto o kangaeru to, nagai nagai michinori o ayunde yōyaku tsukanda seikō de aru koto ga wakaru deshō.
8. "Nakanunara Naku made matō Hototogisu" Kono ku wa Ieyasu no jinsei, seikaku o arawasu ku to shite shirarete imasu. "Hototogisu" no ku wa Nobunaga, Hideyoshi no burogu demo shōkai shimashita ga, mina-san wa dono ku ni ichi-ban kyōkan o oboemasu ka.

## ENGLISH

1. Ieyasu Tokugawa
2. I mentioned previously that Nobunaga Oda, Hideyoshi Toyotomi, and Ieyasu Tokugawa are called the three great men of the Warring States period. This time I'd like to talk about the third of these men, Ieyasu Tokugawa.
3. Ieyasu was the founder of the samurai government known as the Tokugawa Shogunate, or the Edo Shogunate, which lasted for 260 years, from 1603 until 1868. Under this government, a man who had been granted the position of Commander-in-Chief of the Expeditionary Forces Against the Barbarians by the Emperor had substantial power and carried out political functions. This position was passed down through the generations of Ieyasu's descendants. Because the Commander-in-Chief of the Expeditionary Forces Against the Barbarians resided in Edo (present-day Tokyo), the political and cultural heart of the country was Edo. This period is known as the Edo period.
4. So what kind of person was Ieyasu Tokugawa?

CONT'D OVER

5. Ieyasu was born the eldest son of a minor feudal lord in Mikawa-no-Kuni (present-day Aichi prefecture). The state of affairs at that time was that minor feudal lords could not survive without the assistance of powerful feudal lords. As proof of their loyalty, minor feudal lords would often offer up their own sons to the powerful feudal lord. Ieyasu spent his early childhood as a hostage of a feudal lord of the Warring States period.
6. After that, Ieyasu built an alliance with Nobunaga, gradually won Nobunaga's trust, and grew into a great feudal lord. Following Nobunaga's death, Ieyasu cooperated with Hideyoshi in his efforts to unify the whole of Japan, and under the Toyotomi government, became the most powerful feudal lord in the country.
7. Eventually, Hideyoshi died, and it was at the age of sixty-two when Ieyasu, having been victorious at the battle of Sekigahara in the power struggle between the feudal lords, established the shogunate at Edo. If you consider that the average life expectancy at the time was forty to fifty years, you realize that this was an achievement that he had achieved after a long, long journey.
8. "If the cuckoo doesn't sing, wait until it does." This line is famous for representing Ieyasu's life and personality. I mentioned other "cuckoo" lines in the blog entries about Nobunaga and Hideyoshi, but which line did you most identify with?

## VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
同盟	どうめい	dōmei	union
共感を覚える	きょうかんをおぼえる	kyōkan o oboeru	to feel sympathy, V2
差し出す	さしだす	sashidasu	to submit, to offer, to present
人質	ひとじち	hitojichi	hostage
創始者	そうししゃ	sōshisha	founder
ようやく	ようやく	yōyaku	finally;Adv
証	あかし	akashi	proof, testament, token

幼少期	ようしょうき	yōshōki	childhood
武家政権	ぶけせいけん	buke seiken	samurai government
信頼	しんらい	shinrai	trust, faith, reliance

## SAMPLE SENTENCES

<p>徳川家康は織田信長と同盟を結びました。  <i>Tokugawa Ieyasu wa Oda Nobunaga to dōmei o musubimashita.</i></p> <p>Tokugawa Ieyasu formed a union with Oda Nobunaga.</p>	<p>先生の考え方に共感を覚えました。  <i>Sensei no kangaekata ni kyōkan o oboemashita.</i></p> <p>I sympathized with my professor's way of thinking.</p>
<p>父は私を人質として差し出した。  <i>Chichi wa watashi o hitojichi to shite sashidashita.</i></p> <p>My father offered me as a hostage.</p>	<p>まず人質の身の安全を確保します。  <i>Mazu hitojichi no mi no anzen o kakuho shimasu.</i></p> <p>We will firstly secure the safety of the hostages.</p>
<p>静岡県は江戸幕府の創始者である徳川家康の故郷です。  <i>Shizuoka-ken wa Edo bakufu no sōhisha de aru Tokugawa Ieyasu no kokyō desu.</i></p> <p>Shizuoka Prefecture is the birthplace of Tokugawa Ieyasu, the founder of the Edo shogunate.</p>	<p>私たちは、この春、ようやくゴールインした。  <i>Watashi-tachi wa, kono haru, yōyaku gōruin shita.</i></p> <p>We finally tied the knot this spring.</p>
<p>結婚指輪は愛の証です。  <i>Kekkon yubiwa wa ai no akashi desu.</i></p> <p>Wedding rings are a token of love.</p>	<p>幼少期は田舎で暮らしていた。  <i>Yōshōki wa inaka de kurashite ita.</i></p> <p>I lived in the countryside during my childhood.</p>
<p>東京に武家政権の中心である幕府が置かれたことがある。  <i>Tōkyō ni buke seiken no chūshin de aru bakufu ga okareta koto ga aru.</i></p> <p>Tokyo was once the seat of the "bakufu", which was the heart of the samurai government.</p>	<p>信頼を得るのは時間がかかるが、失うのは一瞬だ。  <i>Shinrai o eru no wa jikan ga kakaru ga, ushinau no wa isshun da.</i></p> <p>It takes a long time to gain trust, but only one second to lose it.</p>

## GRAMMAR

Motoko: オーディオブログ第5シーズン第21課 「徳川家康」

Tomoyuki: こんにちは。ともゆきです。

Motoko: こんにちは。もとこです。歴史上の人物シリーズ6回目です。

Tomoyuki: 今回紹介していただく人物は誰ですか？

Motoko: 徳川家康です。Tomoyuki: とうとう江戸時代に入ってきましたね。では、聞いてみましょう。

\*\*\*ブログ本文\*\*\*

Motoko: ということで、今日の人物は「徳川家康」でした。トモユキさん、家康は知っていますよね。

Tomoyuki: はい、もちろん。

Motoko: 家康といえば、何が思い浮かびますか。

Tomoyuki: そうですね。これも、あの、NHKの大河ドラマの話になりますけれども、『徳川三代』というドラマがありまして、それは徳川家康と家康の息子、そしてその息子、孫ですね、三つの世代を通したドラマです。

Motoko: そうですね。「大河ドラマ」と聞いて、リスナーのみなさん、覚えていますか。以前取り扱ったのですが、NHKというテレビ局が1年を通して、一つのドラマの作品を放送している番組の事です。その『徳川三代』という大河ドラマですが、どうでしたか。

Tomoyuki: はい、とても面白くて、特に興味深かったのが、昔の江戸時代の言葉をできるだけ使ってせりふをかいていたということですね。

Motoko: 昔の日本語を使っているということなんですね。

Tomoyuki: そうなんです。

Motoko: たとえばとかなんか覚えていますか。

Tomoyuki: えー、ちょっと今は出てきませんけれども

Motoko: あの、ステレオタイプなんですけど、將軍なんか「わしの言うことを聞くのじゃ。」とか、語尾が変になったりとか。

Tomoyuki: あ、そういうのではないですけども。たとえば昔の「係り結び」っていう表現の方法がありますけれども、

Motoko: ちょっと文法的なところですね。

Tomoyuki: そう、ちょっと文法的なところで昔の表現を使っていました。

Motoko: なるほど。興味深いですね。

Tomoyuki: ちなみにもとこさんはどうでしょう？

Motoko: 私は、家康は江戸時代を始めた人というイメージです。江戸時代はいろんな文化が栄えた時代ですから。

Tomoyuki: 「町人文化」ですね！学校で習いましたけれども。

Motoko: そうですね。「町人」ってリスナーの皆さん分かりますかね？

Tomoyuki:「町人」は「町の人」・・・つまり、侍とか大名じゃない、「町の一般の人」という意味ですね。

Motoko:はい。で、江戸時代後期、最後の方なんですけれども、町の一般の人を中心に栄えた文化を「町人文化」と呼ぶんですよね。

Tomoyuki:じゃ、もとこさん、その「町人文化」には、たとえばどんなものがあるんでしょうか。

Motoko:「浮世絵」が有名ですね。

Tomoyuki:「うきよえ」ですか…。誰が有名ですかね？

Motoko:喜多川歌麿とか葛飾北斎、東洲斎写楽とか…世界的に有名ですから、リスナーの中にもご存知の方いるんじゃないですかね。

Tomoyuki:そうですね。特に歌舞伎役者の絵や、町の風景を描いた 浮世絵は海外の美術館にもおいてありますからね。

Motoko:そうですね。特に有名なのは、シャラクの歌舞伎役者の絵とか、ウタマロの橋の絵

Tomoyuki:あ、ホクサイの海の波の絵は見たことありますか。遠くで富士山が見える

Motoko:はい、あのざっぱーんて大きい波が見えるものですね。浮世絵は西洋の画家に影響を与えたのでも有名なんですよ。

Tomoyuki:ブログの内容に戻りますが、家康は遅咲きの将軍だったみたいですね。

Motoko:そうですね。幕府を開いたのが62歳ですよ。当時の平均寿命が40-50歳だったそうだから、おじいちゃん将軍ですね。

Tomoyuki:おじいちゃん将軍。なんだかもとこさんがいうとかわいいですね。

Motoko:そうですね。

Tomoyuki:まあ、現代の日本の総理大臣だったら60代の方がいてもおかしくないですけど…。

Motoko:そうですね。60代の政治家なんて沢山いますからね。

Tomoyuki:でも、江戸時代の平均寿命から考えると、当時の60歳は今の・・・90歳とか100歳くらいにあたるんじゃないでしょうか。そう考えると、家康は確かにおじいちゃん将軍ですね。

Motoko:ちなみに、今の日本の平均寿命は何歳なんですか？

Tomoyuki:2010年の調査で女性は86.39歳、男性は79.64歳です。

Motoko:あ、そんなに、生きるんですね。私達もまだまだひよこですね。

Tomoyuki:本当ですね。

Motoko:あと、ここ最近3回にわたって紹介している「ホトトギス」の句なんですが、ちょっと説明が必要ですかね。

Tomoyuki:そうですね。まず、家康の「鳴かぬなら 鳴くまでまとう ホトトギス」

Motoko:「ホトトギスがなかないなら 鳴くまで待つよ」という意味ですね。「いつまでもまっているよ」という姿勢が大人ですね。

Tomoyuki:確かに、織田信長の「鳴かないんだったら 殺してしまえ」に比べたらやさしい感じがしますね。

Motoko:そうですね。でも豊臣秀吉の「鳴かないんだったら 鳴かせてみよう」という方が積極的で一枚上手かもしれません。

Tomoyuki:たとえば、家康の、「鳴かぬなら、鳴くまでまとう・・・」だと、いつまで待っていればいいか、分かりませんもんね。

Motoko:そうですね。

Tomoyuki:ブログにもありますが、リスナーの皆さんはどう思いますかね。

Motoko:あ、そうですね。ぜひ、どの句に共感できるか知りたいですね。

Tomoyuki:あと家康に関係していることといえば日光東照宮ですね。

Motoko:有名な観光地ですね。お墓があるんですしたっけ？

Tomoyuki:はい。お墓ですよ。生前家康本人が日光に墓を建ててくれと希望したそうです。

Motoko:へー、どうして「日光」がよかったのか興味深いですね。そういえば「日光東照宮」はユネスコの世界文化遺産に登録されていますよね。

Tomoyuki:そうです。関東地方の栃木県にあるのでJR日光駅からバスに乗るか、東京からバスツアーに参加すると行くことができます。2、3時間でいけるんじゃないでしょうか。

Motoko:へー。東京から近いのは便利ですね。日光は薬師如来という薬や健康を担当している仏像が有名だそうですね。

Tomoyuki:家康が健康に気を使っていたからだとか、自分で薬を作っていたからだという説があるんだそうですよ。

Motoko:ほーなるほど。健康に気を使っていたから、おじいちゃん将軍でも、日本を治めることができたんでしょうね。

Tomoyuki:そうかもしれませんね。江戸時代は200年以上続く時代ですから、その基盤を作った家康はやっぱりすごい人ですよ。

Motoko:そうですね。さて、今日は三英傑の最後の一人、「徳川家康」を紹介しました。

Tomoyuki:リスナーの皆さんは、信長、秀吉、家康のホトトギスの句はどれに共感を覚えますか。是非コメント欄で教えてくださいね。

Motoko:それでは、また。Tomoyuki:さようなら。